

平成 20 年 10 月 14 日

各 位

会 社 名 アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
 代表者名 代表取締役社長 寺本 一三
 (コード番号 9422 東証第 1 部)
 問合せ先 経営企画部長 藤内 聖文
 (TEL. 03- 5739 - 3702)

平成 21 年 3 月期 第 2 四半期・通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 30 日付「平成 20 年 3 月期 決算短信」にて公表した平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 第 2 四半期・通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 3 月期業績予想数値の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	73,000	2,100	2,100	1,200
今回修正予想 (B)	61,000	1,850	1,850	950
増減額 (B - A)	△12,000	△250	△250	△250
増減率 (%)	△16.4	△11.9	△11.9	△20.8
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期中間)	77,825	2,371	2,462	1,558

(2) 平成 21 年 3 月期通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	162,000	4,550	4,550	2,550
今回修正予想 (B)	133,000	—	—	—
増減額 (B - A)	△29,000	—	—	—
増減率 (%)	△17.9	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	151,733	4,768	4,917	2,890

2. 修正の理由

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間

当第 2 四半期における携帯電話販売市場は、制度変更起因する販売価格の上昇と景気不安による消費マインドの急速な悪化とによって、特に買替需要が大幅に落ち込み、携帯電話端末メーカーや当社のような販売代理店にとって極めて厳しい事業環境となりました。大手カメラ・家電量販店やキャリア認定ショップに集中する当社の販売チャネルにおいては、相対的には影響が少なかったものの、

販売台数は期初予想を下回ったため、売上高につきましては610億円（前回発表予想より16.4%減）を見込んでいます。

利益につきましては、販売価格の安定により採算は改善していますが、販売台数減少の影響を打ち消すには至らず、また平成20年7月に株式会社日立モバイルの移動体通信事業を買収したことによる統合コストが一部前倒しで発生したため、営業利益は18.5億円（前回発表予想より11.9%減）、経常利益は18.5億円（前回発表予想より11.9%減）、当期純利益は9.5億円（前回発表予想より20.8%減）を見込んでいます。

(2) 平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

前述の通り、上期は厳しい経営環境が続きましたが、下期には改善する余地があると見込んでおります。

当業界においては、もともと2回の商戦期（12月、3月）がある下期の売上・利益のウエイトが高いことに加え、今年10月にはモバイルナンバーポータビリティ（MNP）開始から2年目を迎え、お客様の流動性が高まるタイミングに合わせた各通信キャリアの販売促進強化が想定されます。更に、通信キャリアが第2世代サービスの新規契約終了や終了時期の発表をしたことにより、お客様の第3世代サービス対応端末への買替えが加速化することが予想されます。当社の販売管理費についても、日立モバイルとの統合に要する一時コストを今四半期でほぼ計上することに加えて、今後は要員配置の最適化により抑制できる見込みです。

以上のことを踏まえ、売上高は1,330億円（前回発表予想より17.9%減）を見込んでいますが、通期の利益予想につきましては、現時点で変更はありません。

なお、配当予想額の変更はありません。（1株につき10,600円（中間5,300円、期末5,300円））

※本業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上